

ビンゴゲームで消費者教育！(小学生用) ～賢い消費者になろう～

1. 方法

- ① 2の問題を解く。2の問題①～⑨の答えを下のビンゴ表に記入する(どこの枠でもOK)。
- ② 1人1問ずつ2の問題①～⑨の答えを発表していく。発表された答えを○で囲む。
- ③ ○が縦・横・斜めどれか1つでも一直線に並んだらビンゴが成立！「ビンゴ」と周りに宣言する。
- ④ 3列ビンゴする人が出るまでゲームを続ける。
注意：自分が発表して「ビンゴ」するのは禁止。

2. 問題 (○に当てはまる語句を答えよ。) ※○の数はひらがな・カタカナの文字数です。

- ① 買い物するときは「いま○○○○なもの」と「欲しいもの」に区別(くべつ)して「買う」「買わない」の判断(はんだん)をしよう。
- ② 買い物は、買う人が「必ず買います」売る人が「必ず売ります」と約束したことになります。このことを○○○○といいます。
- ③ 契約(けいやく)は買う人が「これください」と申込み、売る人が「ありがとう」と承諾(しょうだく)し、○○の一致(いっち)で成り立ちます。
- ④ 買った商品に何か○○○○がなければ返品(へんぴん)できません。
- ⑤ 買い物(契約)は○○約束でも成立します。責任を持って言葉に！
- ⑥ 基本的に自分の○○○だけで買い物(契約けいやく)をやめることはできません。
- ⑦ 大切なことです。子供同士(どうし)のお金の○○○○はやめよう。
- ⑧ 買物をするときは、商品(しょうひん)の情報(じょうほう)を集め、比較(ひかく)し、おうちの人とよく○○○○して決めましょう。
- ⑨ 「買う」「買わない」で、迷ったときは「○○○○」ことも大切です。

ビンゴ表

(選択肢) 相談(そうだん) 都合(つごう) 必要(ひつよう) 口(くち) 契約(けいやく)
問題(もんだい) 貸し借り(かしかり) 意思(いし) 買わない